

LA WEEKLY

ART. 今週のおすすめ

2001年7月20 - 26日

J. A. C. C. C.

(日系 アメリカ人 文化 コミュニティ センター)

角 永 和 夫 展

文 - ピータ・フランク

角永和夫の大きく重量感ある展示作品は、ポスト・ミニマリストの全体主義、形、物質の純粋さを具現化している。

そのことは、作品のフォーム（型）の純正さや、木、紙、ガラスなどの素材においても充分証明されている。もしあなたが素材について考えてみるのであれば、明らかに違う媒介・手段として考えてみたら良いだろう。

そしてまた、密接には関連しあってなくても、この素材を語るのに正しい言語で論じれば、その媒体の範囲内において彼の作品が催眠術にかかったのごとく、完全で高潔さを保っていることが分かるであろう。

巨大な丸太は、横たわり、刻み目が何本も入っていたり、真ん中がくりぬかれている。何本もの竹筒が一箇所に集められ、即席の壁を形成している。もしくは、頑固な人間達の集まりのようにも取れる。

手で梳いた紙を綴じ、幾重にも重なった様は重量感があるものの、紙そのもののしなやかさは感じ取れる。

ガラスは、最も注目を引く作品で魅力的である。

どっしりと床に置かれた塊は、くるくる巡回され、ほぼ均斉のとれた器に近い形をしている。

J. A. C. C. C.

ジョウジ ドイサキ・ギャラリー、ダウントウン

244 S. San Pedro St., downtown.; thru July 29.

(213) 628-2725.